

令和7年度タウンミーティング懇談録（谷田部）

日時：令和7年6月14日（土） 14:00～15:30

場所：みどりのプール 会議室

参加者：市長 ほか 参加者 25 名

<懇談録>

○参加者 1

これ、質問。

●市長

質問じゃなくても大丈夫ですよ。マイク使っていただいてもいいですか。

○参加者 1

谷田部から参りました参加者 1 と申します。市長様には何度かお目にかかったことが。

●市長

去年もこの場所でね。その後、何か。

○参加者 1

その後の御報告がてら。ちょっと時間がないので急ぎで。私の主人が今年個展を開きましたところ、1週間で3,500人の方がお越しくださいませ、感想ノートに溢れるくらい感想をいただきました。その時の感想をちょっとまとめたので、後で市長様に是非読んでいただきたいと思いますと思いまして印刷して参りました。そのうちの一つなんですけども、現代はグローバル化や多様性の時代などと言われますが、日本人自らが自国の文化や伝統に誇りを持ち、またそれを子供たちに継承していくことが、今の学校教育には欠けているように感じておりますと、今回、私たち親子にとってこの上ない経験となりました。このような感想をいただきました。先程、市長様の話を聞いて、すごく本当に細かい人々の心に手が届く、本当に細やかな政策を繰り広げていらっしゃるなと思って本当に感動したんですけれども、こういった科学技術だけではなくて、芸術文化分野でも、人々を感動させたり、勇気を与えたり、生きる力を貰ったって涙ながらにお話をして、3回も4回も来てくださる方が、現にいらっしゃるいました。こういう活動を私ど

もは、日本文化発信ということで行っているんですけども、是非、このつくばから日本文化発信を世界に、先ほど、つくばが掲げていらっしゃる「世界のあしたが見えるまち」というのがありますけれども、私たちも小さいところでは見ていません。日本文化っていうのは、今世界に広めていかなければならないものなので、是非こういった活動を皆さんに知っていただくとともに、市長にも知っていただき、是非応援よろしく願いいたします。

●市長

ありがとうございます。本当に先生の素晴らしい作品の数々は、観る人を深く感動させると思いますし、実はつくばでも今、子供たちの芸術文化の体験をもっともっと充実させていこうというので、予算もですね、そもそも予算がないことにはしょうがないので、今まで、各学校で持っていた予算は本当に僅かだったんですね。本当に学園で十何万円みたいな状況があったので、実はすべての学校に50万円という形で、実質1校当たり10倍ぐらいの金額にして、子供たちが芸術文化を、本当に1級のものを体験できたり学校に呼んだりですね、あるいはその予算を幾らか分割していろんな地域の人たちに来てもらったりとか、そういう事業を始めているところです。是非、そういうところにも、先生などにも、来ていただくとまた、新たな展開が見えるかなとも思いますし、そういう時に日本の文化ももちろん、日本の芸術も、そういったものもお伝えいただけるといいかなと思いますし、何かもう少し全体的な話でも、お手伝いできることがあれば言っただければと思います。はい、よろしくお願いします。

○参加者2

谷田部から参りました参加者2と申します。本日は、タウンミーティングの開催、ありがとうございます。初めてで、発言するつもりなかったんですけど、雰囲気のにまれて。

●市長

雰囲気のにまれて発言しちゃう？新しいですね。

○参加者2

私、障害福祉の分野で新しくちょっと施設を開設したんですが、施設とは関係なくと言うか、高齢者の訪問理美容に関する助成金があるんですけど、重いけど動ける障害の方の、訪問理容の助成があるのかなと思ひまして。自宅でないと、髪が切ることが難しい方が、施設に集まって、そこに訪問理美容の方がいらっしゃる

やって、髪を切ることを望んでらっしゃる方がいらっしゃると。そういった髪を切ることにに関して助成金を検討していただけたとありがたいなと思います。既にあつたら申し訳ないんですけど。

●市長

介護保険のメニューの中に、訪問理美容がどこまで入っているかですけど。

○参加者 2

介護保険には無いほうなので、障害者総合支援法に。

●市長

そちらの、はい。参加者 2 さんが今おっしゃったのは。

○参加者 2

障害者の方。

●市長

障害者の方なんですね。

○参加者 2

障害児及び障害者の訪問理美容ですね。

●市長

そういうことなんですね。じゃあ、総合支援法の中には、そのメニューが無さそうということですね。なるほど、そうですね、出られないでっていうのは。実は私の前、友人たちが、まさにその障害がある人に、やっぱりなかなか美容室に行くの大変だからっていうので、ボランティアで自宅に行ってっていうようなのを、個人的に応援してたりはしたんですけども、ちょっと制度的に確かにそういうニーズはありそうだなと思いますので、何かまずそもそも支援メニューがどこかで関連しそうなものがあるかを調べてみたいと思いますし、その中で本当に何ものなればね、じゃあどういうメニューだったら使いやすいとか、どんなニーズがあるとか、ちょっとその辺を何かまず調査をしたいなと思いますので、貴重な御提案ありがとうございます。

○参加者 3

谷田部から来ました参加者3と申します。2点だけ。

筑波山と洞峰公園の方で何かちらっと見たんですけど、道の駅ですね。作る予定あるんですか？

●市長

予定というか今、候補地がいくつかあった中で4つに絞り、さらに4つの中でも、有力な場所が2ヶ所あります。それが、今お話いただいた筑波山の麓の池田地区という所と、洞峰公園の反対側ですけれども、上原・松野木地区というところで、今、有力な候補地にはなっています。が、当然、地域の意向とかですね、そういうものをすごく大事にしていますので、今ちょうど地区住民の皆さんにアンケートをお配りしていて、御意見を聞いているところです。そこでいただいた御意見を含めて、地域にね、もちろん喜ばれないものとかあんまり分断するようなものを作りたいとは思わないので、そこでいろんな御意見を伺っているプロセスで、まだアンケートやってる途中なので、どんな感じになるか分からないんですが、そういうプロセスです。決まってははいません。実は前のタウンミーティングでも、別の場所で、もう決まってるんでしょって言われたんですけど、本当に決まってないです。

○参加者3

それとですね、今、災害がいろいろ起きてますね。テレビで観たのかな、災害時に水が大切なんですね。公園とか、どっかの地下、公園とかにある災害用の井戸をやっているということで、つくば市ではそういうことは進めてるんですかね。災害時の水。

●市長

災害時の井戸も、例えば、全部の場所ではないんですけども、今度、いくつか場所を決めてですね、学校の中にも、例えば、こういうふうな形で用意していく必要があるよねとかですね、いろんな取組は順次しています。全部にまだ行き渡っているかっていうとそういうわけではなくて、ちょうど今そこに危機管理課長もいますので、何か災害用井戸についての今後の思いとかあれば。

○危機管理課長

はい。御質問ありがとうございました。災害時のですね、水の給付ができるようなそういった施設につきましては、公共施設、例えば学校ですとか、後は、実はこのみどりのプールにもございますけれども、例えば断水、水が御家庭で使えなくなったという時に、給水ができるようなものとして、市内のいくつか設置

をさせていただいている他ですね、先ほど、公園というお話ありましたけれども、公園の方にも、貯水槽があるところ、それから今、市長の方からお話がありましたが、昨年度からですね、中学校区に一つペースで手押しポンプ式のどなたでもお使いいただける井戸の整備を始めたところです。まだまだですね、十分とは言えないところあると思いますので、引き続き各地に地域間のバランスもみながら、設置を進めていきたいと考えております。

●市長

はい、そういうことで、何か私答えますよという感じで前に出てきてくれたので指しました。ありがとうございます。別にみんなが来ているわけじゃないんですけど、たまに御質問が多そうな時は職員も来てくれたりしています。順次、言ったように、特にやっぱり各中学校区に整備は必要だと思っていますので、進めていきたいと思っています。

○参加者 3

昔みたく手漕ぎのはないんですかね。

●市長

並木中だよね。あれ、並木中じゃなかったっけ。

●危機管理課長

一番新しい昨年度作ったものはですね、豊里中学校の方に設置をいたしました。みどりのの方ですね、手押し式ではない形になっております。

○参加者 3

災害時にね、油使って電気よりは、身近に手漕ぎというかああいうので、うちの団地なんですけど、井戸が二つあるのかな、それを活用するような、今、言ってるんですが、それも手漕ぎのホームセンターで売ってると思うんですよね、安い。そういうのを何か市で助成してもらえるんですか。もしそういうの購入する場合。

●危機管理課長

ではお答えいたします。実はですね、既に制度がございまして、つくば市の私共の課の方で自主防災組織の活動育成支援補助金というものを出しておりまして、その中でですね、いわゆる自主防災組織と言われる区会や自治会単位で自主防災の活動をやっておられる団体様を対象にですね、井戸の整備に対する補助

の方を行わせていただいております。上限が 50 万円になっておりますことと、井戸の設備はそう度々整備をするものではありませんので、20 年に一度というふうには決めさせていただいておりますけれども、もし、参加者 3 さんの区会の方で活用していないのであれば…

●市長

ちょっとじゃあ後で個別に御相談いただいてもいいですか。結構使える補助金ありますので、実はうちの区会でもその補助金使って…

●危機管理課長

後ほど伺いますので、すみません。ありがとうございます。

○参加者 4

こんにちは。今日は、このような場をつくっていただき、ありがとうございます。私は開業助産師の参加者 4 と申します。よろしくお願いします。私は、みどりのに住んでいて思うのは、朝、例えばですね、小さなお子さんをおぶって、一人手をつないで保育園に行く、朝 7 時くらいですね。で、帰りにその方は、夜 7 半前位に、やはり二人を連れて帰るんです。そういう方もたくさんいます。それからご飯を作って、もうバタバタな毎日だと思います。そういう、なので駅の前とかに、そういう皆さんが集える場所ができるといいと思っております。例えば親子の方が疲れて帰ってきた時にご飯を食べてお家に帰れる親子食堂ですね。あとは、子供たちが自由に来れる、中高生も来れる。先ほど大穂の方に、青のカフェができていましたけれども、やはり場所が、自力で来れるっていうところがすごく大事だと私は思っております。なので、まずそういう青のカフェができたのはすごく良いことですが、駅前とかに子供や中高生も自分で来られる、それで産後の方、皆さん孤立しておられます。つくば市は産後ケアありますけれども、書類を出して面接をして、許可された人しか預けません。なので、例えば、つくばみらい市とかは書類を出したら、面接とがなく誰でも使えます。なので、つくば市の方すごく孤立している方が多いです。適切なケアを受けられていないので、自由に来られる。そういう方も困っていたら、そこに行ったらサポートが受けられるみたいな、みんなが集える。市民の方もたくさんいろんな力を持っている方がいらっしゃるので、そういう方の力を借りたりしながら、やれる場所みたいなものを是非つくっていただけたらいいと思っております。

●市長

はい、ありがとうございます。そうですね、今のお話だったら、本当にどんな世代でも、ふらっと行けるような居場所というようなイメージですかね。

○参加者 4

そうですね。実際に助産師は、女性の生まれてから亡くなるまでのサポートをするのが仕事で、女性のサポートをするので、もちろん子供と家族とかも入ってきますね。なので、ご老人の方とかも、ケアをしたりすることもあります。地域で活躍してる助産師もいて、ただ働く場がない、あと何かをしたくても借金を背負ってまではできないんですね。なので、場所をやりたい人使いたい人がいて、真ん中に足りないんですね。それをつくっていただけたらいいなと思っています。

●市長

ありがとうございます。いやもう本当に子育て世代も大変ですし、私も子供4人いますけれども、本当に大変な時期はようやく過ぎましたけれども、ご飯作ったりなんだりいろいろあります。実は産後ケア、時々そのつくばみらい市の事例をいただくんですけど、何か確認すると、つくばみらい市も、面接を本当はしなくちゃいけないようなことだったら、一応全自治体面接がある程度要件になってはいたりして、私もその話を聞いたので、もうちょっと産後ケアできるようにならないのという話は担当と何度かやりとりをしまして。結構、特定の産後ケアの場所にすごく希望が集中して、他の場所だったら大丈夫なんですけどっていうケースがつくばは多いんですね。ですので、できるだけ他の、その特定の場所じゃなくても良い産後ケア提供してる場所があるので、そういうところも、もっともっとお勧めしていけば、全体としては、もう少し活用いただけるのかなとは思っていますが、それにしても、そういうふうになる手前の段階でも、居場所がたくさんあるのはすごく大事だと思ってますし、今、市の計画にもたまり場という言葉を使っていまして、まさに今お話いただいたように、世代とか環境とか関係なく、誰もがふらっと来てよくて、気付いたらいなくなっていていいみたいなそういう場所をもっと増やしていこうというので、実はいろいろな枠組みを使って、団地の中にそういう場所を作っていたり、団地であったり、地域の空き商店を使って、地域の皆さんが運営してくださるような事業は実は結構あるんですね。それは、ふれあいサロンという形であったり、もっと本当に常設でどんどんやってくださっている皆さんとか、いろんなパターンがあるので、もしよろしければちょっと個別に、やり方によっても違うんですけど、市というよりそれはもう、地域の皆さん主体で運営していただくような場所を作ってますので、そういうパターンが一つかなと。それからもう一つは確かに、大穂の1

箇所はまだスタート地点なので、本当はね、もう少しいろんな場所につくっていった方がいいなという思いはあるので、みどりの駅前にどういう場所が一番フィットするかなってというのは、これからまた考えていきたいなと思います。是非これからも、助産師さんの力は本当に偉大だと思っていますので、よろしくお願いします。

○参加者 4

よろしくお願いします。ありがとうございます。

○参加者 5

お世話になります。色々御支援いただいて非常に助かっております。防犯ステーションも近々、派出所に格上げなどと思っておりますし。

●市長

そうですね、書かなかったですね、防犯ステーション。みどりのにね、防犯ステーションがね、皆さんできたこと御存知だと思うんですけど、これはもう参加者 5 さんが御提案いただいて、本当は県警が交番を作ってくれればいいんですけど、なかなかつくってくれないので、じゃあもう市のお金で一旦は、頑張ろうということでですね、その立役者が参加者 5 さんですので、ありがとうございます。

○参加者 5

10 年かかりましたけれどもありがとうございます。ちょっと 2 項目おっしゃった方いらしたんですが、基本的に一番お願いしたいのは、私今回の持続可能な 15 分都市、これすごいフレーズだと思ってるんですね。前々からお願いしていますとおり、みどりのは非常にインフラが整っておりません。郵便局はない、すぐに行けるような、図書館、郵便局、こういったところに、さらに先ほど話出ましたけどフリースペース。私どもが、区会あるいは活性化委員会とか、総会とか、地域に開放されますフリースペース、あるいは子供さんを預かるような、勉強できるようなフリースペース、先ほどのこども食堂とか、食堂の話も出ておりましたけれども、ゆくゆくは、今、谷田部の市民センターでやっておりますみんなの食堂を、やはり、ゆくゆくはみどりのにも必要じゃないかというふうに考えておりまして、そういう複合スペース、施設のみどりの地域への設置を、是非近いうちに、もう何度もお願いし、繰り返し申し訳ないんですけども、耳にタコができていないかもしれないですけども、それを是非お願いしたいと思いま

す。それともう一点だけ、すみません。トンボ池の改修ありがとうございました。私の区会含めて、ボランティアの方手を挙げていただきまして、月に数度、ごみ拾いさせていただいております。空き缶、たばこの吸い殻、ファミマのファミチキ、こういった紙とか、それはいいとして、そこですね、出て来てますのは二つあります。一つは、設計図にありました、東屋がなくなった。炎天下で、ちょっと日陰で休もうってところがなくなったというのが一つあります。もう1点は、保育園がありますけれども、そちらの子供たちがスロープを使って段ボールを使った遊びができたんですよ。そこに柵ができてしまったと、それでできない。ロコミで、今ザリガニ釣りが流行ってます。小学生を中心にですね。ところが、まだあのトンボ池の魅力っていうのが生かされてないです。黄色い菖蒲とか、それから黄色い菊の花は非常に皆さんとしては関心を与えると思うんですが、どうも立派なフェンスが行く手を阻み、少し浅いトンボ池をですね、もうちょっと伸びないのかなと。ただ、救いはうぐいすもいなくなることもなく、さえずっておりますし、ふくろうも見れるようになりましたし、鳥も蝶も飛んでいます。そこは感謝してるんですけども、その二つをちょっと、是非ともよろしく願います。

●市長

はい、ありがとうございます。まず、複合施設というかその生活機能ですね、今15分都市というお話いただきましたので、ちょっと何のことかと思われる方もいらっしゃると思うんですけど、さっき、割愛をしたマニフェスト、私が政策をつくる上で大事にしている考え方とか、前提となる考え方が五つありまして、一つが「全世代、全市民の幸せ」、誰かの幸せは誰か不幸にはしないということです。二つ目は、つくばですから当然、科学技術をどんどん使っていこうと、三つ目はこの「持続可能な15分都市」、これは今から説明します。四つ目が、「変革し続ける市役所」で市民と共創するということですね、で、「みどりへの転換」ということなんですが、この三つ目の15分都市って何かって言うと、これは実はつくば市の都市計画を、ある意味根本から結構変えたんですね発想を。それは、今までの都市計画っていうのは、簡単に言うと、つくば市の計画でもですね、人口真ん中は増える、駅前も増える、だけど他の地区はもう人口がただただ減っていくのを、もう出して待つだけだよみたいな、そういうような、極端に言っちゃうと計画だったんですね。でもそれは違いうだろうということを、私市長に就任していろんなディスカッションを重ねて、今まで実は周辺地区に対する政策って、皆無と言っていいぐらいだったんですけど、それに対して、参加者10さんとか今日いらしてくださっていますけれども、地域の活性化協議会をつくっていただいていますね、地域でいろんなチャレンジをしていただくと。更にその周辺8市街

地というのは、今までのその町や村の中心の場所だったんですね。商店街だったり、役所であったり。ですので、そこを、市街化区域と言われる場所なので、そこにもっと都市機能を集積させて、その8市街地であれば、歩いて暮らせるまちをつくろうと。徒歩15分で必要な機能、行政の機能、病院の機能、金融の機能などというのを揃えていくということを今回掲げています。実は、もうその8市街地に、どの機能があって、どの機能がないかっていうような調査は一応終わっています。当然8市街地だけでは住む人は限られますから、その周りの人は公共交通で15分で、その8市街地に行くことがどっかにできると。そして、それでもどうしても足りないところは、テクノロジーで補っていきましょうというようなことが、この15分都市というビジョンを掲げているもので、これはアメリカで一番住みたい町と言われたポートランドという町、私も行ったんですけども、ここは20分都市ということなので、最近だとねパリとかが15分都市とか言い始めていて、パリは15分の中に自転車で15分も入っているんで相当広くなっちゃってるんですけど、一応つくばは徒歩15分と公共交通という文脈でやっていますが、都市機能を集積させていくということで、それを真ん中とか駅前だけじゃなくてという文脈で使っていますが、でもね、みどりのおっしゃるとおり、いろんなものにアクセスはできるとは思いますけども、でも公共的な部分のインフラであったりというのは、まだまだ足りてないと思ってます。かなり、例えば郵便局もですね、いろんな交渉をしています。これはちょっと郵便局のいろんな方針もあったりするんで、まだまだお伝えできることはないし、何かこう私が何もしてないみたいなことを言われたりもするようですけども、全くそんなのはでたらめで、いろんな交渉とかですね、協議を今積み重ねて、何とかですね、良い報告が皆さんにできればなと思っています。そういうことも含めて、このプールも、そういう居場所になればいいなとは思ってですね、ここのエリアを作ったりしました。全部を多分一つの場所で賄うのはなかなか難しいかもしれませんが、みんながやっぱり集えるような、場所をどういう形で作っていくかというのは課題としてあると思うんですよ。ですので、先ほどの方のお話もそうですが、地域の中での居場所というのを、1か所で派手になのか、こうね、本当に徒歩圏に拠点がいくつかあったりする方がいいのかななんて思っていますので、ちょっと、何か新しい建物がドーンと立つのは、なかなか厳しいかもしれませんが、いろんな機能もできればですね、充足させていきたいなというふうには思っています。トンボ池の方は、ごめんなさい。柵が、保育園の敷地？

○参加者5

すみませんパワーポイント持ってくればよかった。まず、保育園の側、道路側から見ますと左側ですね、が、柵ができてしましまして。

●市長

新しい柵ですか？昔からの鄙びた柵ではなくて？

○参加者 5

はい、新しい柵です。そこで、斜面に当時は砂ではなく雑草だったんですが、そこで段ボールを使って滑り降りる、そういう遊びができたんですね。それができなくなったと。

●市長

柵ができたことによって？

○参加者 5

はい。今は、ひょっとしたら養生されてるためかもしれないんですけど。それが一つと、もう一つはやはり右側ですね、今度は、止まれの表示していただいて、これは非常にすぐやっていただいたので感謝しているんですが、その後の右手は以前、防災の洪水が溢れるってということで、発表された方がいらっしゃいましたけれども、そこはもう完全にフェンスで囲われてしまっていて、非常に景観がもう遮断されてしまっているような感じなんですね。なので、何とかそこを生かしていただけないかなと。フェンスをつくる予算があれば、違うことに使えるんじゃないかと、すみません、ちょっと穿った感じの意見になってしまいますけれども。

●市長

いえいえ、景観は本当に大事にしようねというようなことは話をしていたので、できるだけあの魅力を、ちょっとごめんなさい、フェンスの具体的な部分とか、ちょっともう一度私も見てきて、ちょっとよかったら今度行く際に御連絡しますので、東屋のことも含めてですね、ちゃんと確認をしたいなと思います。

○参加者 5

すみません、よろしくお願いします。

●市長

はい、ありがとうございます。三つあったはずですけどいいですか。

○参加者 5

もう次の、今度は区長会で言いますので。

●市長

分かりました。

○参加者 6

つくばのみどりの南に住んでいる参加者 6 です。よろしくお願いします。樋口雄大さんのコミュニティにも時々参加させていただいている者なんですけど、ちょっとその方に市長にお伝えしてくださいということで言わせていただいて、ごみの件でちょっと気になったことがありますて、ごみの回収時間なんですけど、私もともとつくば市の荃崎町に住んでたんですけど、その時は結構早い時間に出さないと回収してもらえないよっていう話で早めに出していたんですが、みどりのは逆にちょっと遅いなって、もう 5 年くらい住んでるんですけど、思っていて、特に燃えるごみ、生ごみが出ると、あんまり遅いと猫とかカラスとかにやられちゃって、結構私ごみ捨て場が家から近いので、臭いとかが気になって、そこにちょっとつくば市、みどりのエリア広いので回り切れてないっていうのもあると思うんですけど、その辺、業者を増やすとかちょっと分散してやるとかで、回収時間を早めていただけたらありがたいなと思って発言させていただきました。

●市長

はい、御迷惑をお掛けしております。ごみ、特に燃やせるごみは、やっぱりどのルートかによって、時間が全然違ってしまいうなというのは、これ事実としてあります。だから、8 時直後に空になる場所もあれば、11 時ぐらいまでかかっちゃってるところも、そこまではないかな、あったりするんですよ。業者さんも一生懸命やってくさってるんですけど、やっぱり燃やせるごみの日ってすごく量が多いので、1 箇所にも時間がかかってっていうので、ルートが実は変わると、今まで逆に遅かったのに早くなったり、早かったのに遅くなったりというのはあって、それは、組合の方たちとですね、色々相談しながらやっているんですが、そのへんね、プロフェッショナルがここにいますけど、どうですか。どうしたらいいでしょうね、なかなか業者さん増やすっていうのもね、大変な感じというか、業者さんも一杯一杯でやっていただいていますけど。

○参加者 10

タクシーやバスの運転手が足りないように、今プロフェッショナルな話ありましたけれども、ドライバーなかなか今は集まらない時代になっています。です

から急に業者というか、車の台数をね、お金を出せば増やせる時代ではなくなってきたのかなと思っています。で、まずですから私ね、市長にはね、ごみステーションの整備は必要だろうと。必要だろうというのは、今のよう形じゃなくて、多少その臭いを臭気を止めるようにある程度自動的に積み込みできるようなボックスを。一応8時までにごみを出してくださいよって市民の皆さんにお願いしてますけど、おっしゃるとおり、もう午後になってもなかなか取りに来てくれないっている地域もありますんで、ごみ問題は出てるんだらうなと思います。

●市長

ネットですか。

○参加者6

ネットです。簡易的なネットで。やっぱり新しい地区なので簡易的なものしかないのです。

●市長

区会管理ですかね。

○参加者6

はい、そうですね。

●市長

もし、区会管理でしたら、区会の皆さんからの申請をいただくと、集積所の補助金というのがあって、それで、結構今鍵付きというかドア付きというか、そういうようなものに変えていただいている所っていうのは、増えてはいますので、なんかそんなこともちょっとね、なかなかね、そうですね。ちょっと収集を増やすのは今ほんと限界だなと思ってますので、これね参加者10さんから御指導いただきながら、どういう解決策があるかと、それから予算面で現実的かというようなことを含めて、ちょっと。

○職員

市長、すみません。今の件で、私はこうやっているという事例を紹介したいという方がいて。

●市長

そうですか、じゃあ関連ということでお願いします。

○参加者 4

同じように私たちの地域も、まず最初はネットだったんですけども、そうするとそれをカラスにやられて、みんな働いているので、東京とかまで行っている方も多いので、当番の日も掃除ができないんですね、散らかってしまったものを。そうすると何日間も生ごみがぼろぼろ出てるっていうのがあったんですね。なので、市の助成金を使ってごみ箱を設置しました。で、地域の皆さんと、その区画に住んでる人と割って、一人一世帯1万円弱位で設置ができたので、それですごく問題が解決しました。参考までに。

●市長

ありがとうございます。各地区でいろいろあると思うんですが、市としては、できるだけそういうものを使っていただけると、まずはありがたいかなということと、でも参加者10さんからあったそういう仕組みもね、今御提案いただいたものも含めてちょっと調査をしてみたいと思います。ありがとうございます。

○参加者 7

みどりの2丁目参加者7です。去年に引き続き、居場所とかについて言おうと思ったんですけど、既に参加者5さんとそちらの助産師の方が同じ気持ちで言ってくださったので、それは置いとしまして、この間の一般質問で川久保議員からも話があったと思うんですが、花火ができる場所を提供して欲しいということで、私も子育て支援の活動してる中で、庭が狭いとか、周りの家に気を遣っちゃうので花火ができないと、キャンプに行った時しかできないということで、ただスーパーとかホームセンターにはいっぱい花火が売っているから、その辺の花火ができる機会がみどりのでもないかなって話を、この間丁度出たので、今日ちょっとお伝えしようかなと思いまして、そこのみどりのプールの駐車場とかどっかで、もしできるようになったらと思ってですね。

●市長

公園では基本できるようにします。

○参加者 7

芝生とか。

●市長

芝生の上でも、実はその芝生の上大丈夫なのって話をしたんですけども、実は、逆にその芝生じゃないところ限定にしちゃうと、その方がかえってやばいだろうということで、やってみます。ただ、あくまでもやってみて、あまりにも状況が悪ければ、またルール変えていこうと思って。それからもう1個、そうですね、市役所の駐車場で今やろうと思っているんです。これ去年、つくばみらい市でやっていて、小田川市長に、これすごい良いですけど、真似してもいいですかって聞いたら、いいよいいよって言ってくださって、市役所の駐車場で、これはお盆の帰省時期とかちょっと限定して3回位なんですけど、そこは区画貸しみたいにしてですね、もちろん無料で花火をできるようにしてみて、ちょっとそういうのを試してみて、どんな感じに実際の運用になるかですね。やっぱり近所の方からすげえうるさいとかってクレームが来るのか来ないのかとか、ごみ散らかってるのか、それともちゃんと綺麗に帰って片付けてくれるのかとかっていうのを見極めていきたいなと思っているので、みどりのにある公園でも、原則できます。

○参加者 7

ありがとうございます。

●市長

是非ね、これはね、もうそうなんですよ。この間、小田川市長と話したんですけど、やっぱりね新しいまちが、それも職員からの提案だったらいいですね、その市役所の駐車場という、現にまちが変わってきてるわけで、昔は花火なんてどこでもできましたよねなんて話をしていた、おっしゃるとおり集合住宅の方なんかは特にできませんので、はい、やっていけるようにしたいと思っています。

○参加者 7

ありがとうございます。

●市長

何か、いや僕から言ってもあれなんですけど、以前のタウンミーティングで、この場所で何かやるとかっておっしゃっていたことについても、御相談いただければと思っているんですけど、まだ。

○参加者 7

そうですね、まだちょっと、私がここを使えるかもしれないねっていう話をし

ていた皆さんが、個人事業主で、ある程度講師料とか、お金をいただきながら活動されているお母さんが多くて、営利目的だと使えないということが、ちょっと制約になってしまって、ここを活動の場にはちょっとしづらいというお話があって、ちょっとまだ、その辺がまたお話しできればと思います。ありがとうございます。

○参加者 1

すみません、先ほど言いそびれてしまったことがありまして、今の皆さまの話聞いていて、気が付きました。私ども先ほど文化力というのがすごく大事だというお話をさせていただいたんですが、実は、みどりのの駅のすぐそばの源流公園の近くに美術館を建てたいというふうに思って、あの中に何度も検討したり市に交渉したりしました。今丹頂鶴を飼ってるんですけども、そういった丹頂鶴、日本文化に触れながら皆様にお茶を召し上がっていただいたりするような場づくりをさせていただきたいと思っております。先ほど参加者 5 もおっしゃったトンボ池も以前はもうそれこそトンボがたくさん色んな種類が飛んでいて、池の近くまで行ってホタルが飛び交っているような、とても憩いの場であつたらしいんですね。トンボ池のあたりも開発して、自然と触れることができるような美の、美しいものを感じることができる感じられる心を育てるようなことをしたいと思っております。ちょっとそのことを言いそびれましたので、お話させていただきました。

●市長

はい、その後どのようになっているんですかね。絵画、規制上、美術館そのままと難しいんですけれども、例えばレストランのような形で絵画を飾るとかだったらできそうだなとか、そういうことは。あとは、ただ、通路を 3 メートルとらなくちゃいけないとか、色んな制約があるんですが、そのこと御相談ってしていただけてますかね。

○参加者 1

はい、今おっしゃってくださったとおり、道路に、あの辺調整区域になるとは思うんですね。そこに建物を建てる場合の制約で、通り抜けができる、大きい道路沿いではないと建物を建ててはいけないというのがありまして、コンビニエンスストアとか保育園とかそういった建物でしたらすぐできるらしいんですが、道路のところで昨年許可が下りずに、諦めたという経緯がございます。ただ、大きな通り沿いに私ども建てるのはそれはちょっと見当違いだと考えており、やは

り歩きながら、散策しながら美術館まで駅から歩いて、ちょうどあそこは駅から
も歩けますし、人が集まってしやすい場所だとは思いますが。そして何よりも林が
そのまま残っています。それはつくば市内を探してもなかなかこのような立地
はなく、希少な立地だと思っています。

●市長

そうですね、なかなか都市計画の縛り結構強くて、どうにもならないこと沢山
あって、もどかしいのは私もあるんですけども、ちょっと改めて担当にも確認し
てみます。

○参加者 1

ぜひぜひ。もし、美術館ができれば、周りにもいろんなカフェですとか、図書
館とか本屋さんとかそういった憩いの場所がどんどんできていくと思います。
まちの発展のためにも良いと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○参加者 5

簡単なお話をする、五角堂なんですけれども、非常に史跡財産としても良い
と思います。ところが、もう茅葺きが、屋根がかなり傷んでまして改修が必要だ
と思うんですね。で、みどりのの茅刈りを五十嵐さん一緒にやっていただいたん
ですけど、だいたい2年くらい刈らないとその改修部分の茅を手配できないっ
てお話なんですけど。

●市長

量が足りない。

○参加者 5

量が足りない。それを今度はみどりの南小学校近辺の茅なども使えば何とか
なるんじゃないかと思うんですけど、ぜひその五角堂の改修も検討いただけ
ないかと思って、谷田部に非常に良い史跡がありますのでね。よろしくお願いします。

●市長

茅、僕も最近お邪魔していないのでどんな状況になってるか分かんないんで
すけどね、傷んでるんですね、屋根が。ちょっと現地見に行ってどんなことが。
確かに、この間の皆さんの茅の活動、すごいまちづくりのお手本のような感じが

しましたので、そこでね、地域の子供たちと一緒にいろんな活動をして、そして茅葺き屋根について学び、それが実際に町の文化財を改善するようなことがあればね。日本文化をこうやって伝承していくことに繋がると思いますので、なんか地域の皆さんで主導の形の動きとかができれば、もちろंदうしてもコストかかる部分もあるかと、ただそういうのを何かしら市が行政で賄うみたいなのはちょっとやり得る気がします。ちょっと相談させてください。

○みどりのプールスタッフ

花火の件で、花火、みどりのプールでもできるように調整しますんで。

●市長

おおすごいですごい。みどりのプール駐車場でできるんですね。

○みどりのプールスタッフ

はい。

●市長

ありがとうございます。早いですね。やりましょう。花火ね。

○参加者 8

みどりの一丁目の参加者 8 といいます。いろいろ日頃、参加者 9 とですね、一緒にいろいろ活動させていただいてます。そこに表示されている、五つ目の、「緑」への転換、グリーンシフトについて、ちょっと私自身勉強不足なところがあるので、どのような取り組みでどういう風にされていくのかというのを教えていただきたいんですけども、民有緑地、あの緑って植える、植えるだけだとダメなんですよね。その後メンテナンスなんかで結構人手もかかりますし、植えることを進めるのは非常にありがたいとは思っているんですけども、そのパッケージとしてどのように育てていって、どのような狙いがあるって、どういう風にしていくのか、長く続けることが必要だと思っているので、それについてちょっとお答えいただけたらと思います。

●市長

はい。ありがとうございます。私がこれすごく今力を入れているものの一つとして、温暖化は、もう言うまでもなくいろんな問題が、生物多様性の面でも、緑が

失われることによって、そこで植生も、それから、生物もですねどんどん失われてしまっていると。これをどうやって、まずは、戻していくかと。さらには、ネイチャーポジティブという考え方がありますけれども、よりプラスにしていくかということを考えて取り組んでいます。具体的にじゃあ、どういうことかというところ、決して緑に転換するからみんなが我慢しなくちゃいけないとかではなくて、積極的に緑に投資をしていくことだと思ってます。おっしゃるとおり、ただ植えりゃいいよっていうんではないわけですよ。逆にしっかりと植えて、それを管理をする仕事も作っていくことによって、緑に従事する仕事の人が増える。そうなれば、その地域経済にもプラスになると。あるいは、まさに生物多様性なんかそういう分野なんですけれども、大学院とかまで出て生物多様性の勉強をしても、それで就職が、ぜんぜん先がなかったりするわけですよ。そういう人が、例えば、これ一例として洞峰公園なんか、まあトンボ池のほうがいいかもしれませんけれども、などで、植生のガイドをやってくれたりすると。例えばそういう人を市で雇用しちゃうと。そうすると、この彼か彼女にちゃんと収入がいきながら、地域の子供たちとか、地域の大人が学ぶことができる。それがまた次世代に繋がっていき、こういう仕事もあるんだなって思ってくれると、どんどんグリーンに関する仕事が増えていく。そういう好循環を生み出していきたいと思ってるんですね。ですので、お住まいのエリアなんかでも、ただ、だから言っているのは、何でもかんでも増やすと言うんではなくて、その先の、それこそメンテナンスをする人材への投資、そして人材の育成、というようなことも含めて、セットで長期的に考えていくことで、転換が進んでいくんじゃないかと、そういう思いでやっていて、実はですね、市役所の職員の募集を今、一般の人は、もう始まっているんですけど、専門性のある人材を採る募集をですね、また始めるんですね。だからもうその数年間、ちゃんと例えばグリーンの仕事をしてきた経験値のある、もう本当に即戦力のような人を、とかですね、何分野か、専門人材を、採用をこれからしていくための一つに、まさにその環境分野での、経験値のある人を。その人は、最初、市役所って、主事から、主事、主任、主査、係長、補佐という風になっていくんですけど、もういきなりその主査というですね、10年選手ぐらいがなるところに、採用をして1年で係長までなれるようなポジションでのポストを募集をしていくことを予定しています。どういう人材が応募してくるかまだ分かりませんが、そういうことを行政が主導をすることで、波及をさせて、そして次の世代まで伝えていこうと。それがここで掲げているグリーン・シフトの目指してるところですが。お答えになっているでしょうか。

○参加者 8

非常によくわかりました。特にシニアの方なんかですね、御家庭にお庭があ

って、庭づくりなんかをやっている方が、できれば公共の部分だとね、メンテナンスができると、やっぱり人の足りない世の中ですから、できる方にそういったお仕事が与えられるっていうのは非常に素晴らしいことだと思います。

●市長

そう、そういう点でちょっと今言わなかったんですけど、それこそ環境のいろんな団体の皆さんもいらっしゃるわけですよね、まさにそのいろいろ提示してくださったような。そういう皆さんにも市から積極的にお仕事をお願いして、公共部分なんかもやっていただくなんていうのもあると思います。それはその団体の活動資金もあるし、結果として街がどんどん良くなっていくので、そんなこともしっかり取り組んでいきたいなと。ありがとうございます。

○参加者 9

みどりのの参加者 9 です。あの後ろの方と一緒に活動しているのは、我々あの緑化事業の NPO をやっているんですね。で、グリーン・シフトの対象というところは多分二つ、いくつかあると思っていて、いつも我々思っているのは、放棄耕作地どうすんねんっていう話がまずあって、そこを何らかの手を打つ必要があって、多分それって、農地の集約をしながら、農地バンクもなくなっちゃったんですよね。変わったと聞いてます。もう集約の方向に行くからって説明を受けていて、貸すことはもうありませんみたいなことを実は今年の 4 月に聞いて、なくなったって聞いてます。あれ？

●市長

グリーンバンク？

○参加者 9

農地バンク。なくなったって聞いてます。まあそれもしょうがないかなと思っていて、要はあの、日本の農家支えるためには土地集約をしていって、そこでやる気のある方たちにどんどんやっていただくってのはいいなと思うんですけど、もう一つは道路の、緑地マスっていうんですかね。あそこが雑草だらけで、すごい見栄えが悪いんですよね。で、他の地域から来た時にあそこがすごく荒れているっていうのもあるので、本当はそういうところを、民有の人たちにやってもらって、何か補助を出すような取り組みをして、なんか道路課も「あそこ草刈ってください」って言ったら、「何キロ、何万平米あるんですか」とかって言われちゃうんで、なんかもっとさっき参加者 8 さんがおっしゃったように、やる気のあ

る人に、なんか道路の民有緑地マスをメンテする権利を与えて、やった方には何らかのリワードがあるということはできないかなと思ってます。

●市長

そう、そうね。グリーンバンクだよね。はい。ぜひお願いします。いや、本当にそういう形にしたいんです。なんかね、行政が全部やるの、絶対無理ですから。無理なんです。無理だけど、じゃあ全部ボランティアの皆さんやってねっていうのも僕は違うと思っていて、何か市民の善意をただ、そこに乗っかるだけじゃなくて、ちゃんとそれが次の世代への投資、次の活動への、資金になるようなものは少なくともお渡しをしてお願いをして、言ってみれば、地域でお仕事としてやっていただくというような形が理想的だと思っているんですね。ただ、ただお願いするだけだと、よくあるのは、さっきのね、植えたばかりでほっといたらっていうなんかは、実は市内でも結構あって、何か、あんまり個別には言いませんけども、あるものを植えましたと。良くなると思ってやりましたと。だけど、20年経ってみんなもう高齢化したからできません。全部市でやってみたいに今来て、それ荒らしておくわけにはいかないから、こっちで引き受けたりするわけですよ。でも、それじゃだめだと思うんですよね。全然持続可能じゃないので。です。ので、今参加者9さんがおっしゃったようなね、マスを管理をしてもらうとか、何か、ただあんまり行政がごちゃごちゃやるっていうのも、きっと皆さんの活動の自由度にも関わると思うんですけど、何か、ちゃんと対価が、別にそれで莫大な利益を生み出そうとかそういう話じゃないと思いますから、何か適正な形をお願いをできて、みんながそれでまちを綺麗にしていく循環が生まれるといいなと思いますので、ぜひ、ちょっとどんな制度が一番やりやすいか、また後で相談させていただければと思いますので。

○参加者9

我々アイラブつくば基金でやりました。

●市長

でもアイラブつくば3年しかないですからね。そのあと継続でも2年しかありませんから、もうちょっと持続可能な仕組みがいいなと思っていて。もうちょっと、なんていうんでしょうね、常に言っているんですけど、本当にNPOの皆さんとかまあ、今度労働者協同組合とかもできましたけど、そういう皆さんともう少しく柔軟な形で、いろいろなことをお互いにできるような、役所でありたいなとは思ってるので、もちろんお金の管理はきちっとしなくちゃいけないですけどもね。ちょっと是非、制度設計また相談させてください。貴重な御提案あ

りがとうございます。

○参加者 10

すみません、逆向きますけど、ちょっと宣伝したくて。すみません。今日お集まりの方々に。黄色いジャンパー、参加者5さんと同じもの着てますけども、谷田部活性化協議会、昨年度までは谷田部市街地活性化協議会って名前だったんですけど、市街地取りました。谷田部というと、みどりのとはやっぱり違うだろうなと、みどりのの方たちは思ってたんじゃないかなと思います。みどりのに限らずですね、TX 沿線に新しくできた開発されてきた町の方々からすると、谷田部って、ん？と、ちょっと首をかしげるということは多々あると思います。これは、つくば市は合併する以前に谷田部町というのがございまして、つくばの中心であったという。その谷田部というところの名前が、今でも行政でもよく使ってる谷田部になります。先ほどみどりのの方々からですね、みどりのにはこういうものが足りないっていうような、毎年同じような話は聞いてます。まず公共的施設は本当に足りないと思います。ここにみどりののプールができたことはまあ一つの、展開の一つだと思いますけども、何の宣伝かといいますと、7月の12日ですね、谷田部の祇園祭がございまして、これは活性化協議会は、地域の皆さんに、これはみどりのの方々も含めて、お祭りとして楽しんでもらえるイベントとして一つやる。私はその足元の昔ながらのお祭りの委員長も拝命しておりますので、お神輿を担ぐというような、祭りをします。これが連携して、やはり谷田部、みどりのも含めた、今後のですね、人と人との交流ができるような、お祭りにもしていきたいということで7月12日、暑い時間を避けまして、4時からです。4時からなんで、大人の方も子供の、子供の方々もですね、子供みこしも御用意しますんで、是非とも楽しい祭りとして参加していただきたいと思います。その宣伝でございまして。

●市長

ありがとうございます。前から言ってるんですけど、何か、みどりのの学校へ、そういう案内とかってどれぐらい流れてるんですか。

○参加者 10

今年はみどりのの方にもポスティングでお知らせします。

●市長

皆さんの自力で。

○参加者 10

はい。地域の祭りということで、あまり外に宣伝するっていうことは今まで確かに少なかったかなと思います。みどりのに限らずですね、とにかく、つくば市の方々に、ぜひ、大人神輿も担いでみたいという方がいらっしゃれば、御案内いただければ、大変重いですから、まあ、2週間ぐらい肩が多分腫れるかと思いますが、その覚悟でやってもらうと結構楽しいもんです。よろしくお願ひしたいと思います。

●市長

はい。さっきの周辺市街地の取り組みまさにそうなんですけど、新しく、引越してこられた皆さんが、ちょっと谷田部に行くだけでもすごい、まちとしてのね、新たな動き、エネルギーになっていく。

○参加者 10

そこで一つ提案。絶対みどりの駅を、御利用しているみどりの地区の人たちは、やっぱり直線で2キロなんです。谷田部の庁舎付近は。直線で2キロなんですけども、じゃあ子供を抱えてこの直線2キロを移動するってどうするのと。定期バスやそれを利用したって、やっぱり結構な時間がかかるので、いずれみどりのにはもっともっと公共施設も必要ということで、計画はされていくやもしれませんが、無いもの、お互いに無いものはあって、それを補完するためにも、是非ともそのピストンで行き来できるみどりのとですね、谷田部の市街地が、公共交通、市長にお願いしたいなんてのはそこかな。だからもうみどりの駅からすぐもう10分で、体育館や交流センターに行けると。戻って来れると。谷田部にはですね、今言うような、みんなの食堂も展開し始めましたし、みんなが集える場所、交番の脇に伊賀七庵という場所も、ただ、逆に言うと、もともとの町の方からすると、もっと来て欲しいんだけどなかなかそういう利用度が低いと。まあ、そんなところを補完し合える関係性で進んでいきたいなと。

●市長

そうなんです。なんか良い関係にできるなと思っているので、この行き来をね、もっと生み出せるようにいきなり公共交通、新しいのは大変かもしれませんが。また、なんか考えましょう一緒に。

○参加者 10

です。やってみましょう。